

■令和4年度 地域福祉懇談会の開催状況

(令和4年8月末現在)

NO	地区社協	日程	会場	参加者等	補足
1	豊岡	5月19日(木)19:30～	豊岡中央交流センター 多目的ホール	地域づくり協議会 健康福祉部会員	
2	岩田	6月18日(土)14:00～	岩田交流センター	地区社協役員、ほっとな地域づくり 仕掛け人、福祉施設	向陽地区の福祉なんでも相談窓口等へ訪問による課題・意見聞き取り
3	大藤	7月に15自治会で開催	15自治会 各会場	自治会長、副自治会長、福祉委員、 民生委員・児童委員、班長、地区社協役員	
4	向笠	5月12日(木)19:00～	向笠交流センター 体育館	地区社協(福祉委員)、 民生委員・児童委員、自治会長	
5	見付	11月12日(土)13:30～	見付交流センター	地区社協会員(福祉委員、民生委員・ 児童委員、シニアクラブ、ボランティア等)、 中学生・高校生	
6	今之浦	10月4日(火)14:00～	今之浦記念館	地区長、民生委員・児童委員、 福祉委員、サロン、子育て委員、 地区活動経験者	
7	西貝	9月6日(火)13:30～	西貝交流センター	地域づくり協議会福祉部 役員等	
8	田原	8月20日(土)10:00～	田原交流センター	地区社協タスクミーティング委員、 サロン・居場所実践者	タスク会議(困りごとアンケート後の協議)にて、話し合い継続中
9	御厨	令和3年12月3日(金) 以後、継続実施中	御厨交流センター	地域づくり協議会地域福祉部会 役員	役員会にて、地域課題の解決に向けた協議を継続中
10	南御厨	令和3年10月9日(土) 令和3年12月11日(土) 以後、継続実施中	南御厨交流センター	地域づくり協議会福祉部 (地区社協)役員	役員会にて、地域課題の解決に向けた協議を継続中
11	中泉	7月17日(日)13:30～	iプラザ	自治会、地域づくり協議会福祉部、 福祉委員、民生委員・児童委員、 サロン、百歳体操、シニアクラブ、 介護事業所	
12	豊田東	中学生以上 全住民アンケートを活用 (地域づくり協議会にて取りまとめ)			せいかつ応援クラブ 立上げ準備を実施中
13	富岡	11月下旬で日程調整中			
14	池田	意見集約の方法について協議中			
15	井通	7月20日(水)19:00～	井通交流センター	地区社協役員、福祉委員	
16	青城	10月15日(土)19:00～	青城交流センター	地区社協役員	
17	長野	中学生以上 全住民アンケートを活用 (地域づくり協議会にて取りまとめ)			
18	南	9月13日(火) 9月29日(木) 10月29日(土)	南交流センター	民生委員・児童委員、福祉委員、 地域づくり協議会正副会長、 地区社協役員	
19	福田	7月29日(金)9:30～	市福田支所	ふくでの福祉を推進する会、地域 づくり協議会、民生委員・児童委員、 福祉委員等	
20	竜洋	6月22日(水) 6月24日(金)	竜洋交流センター	民生委員・児童委員、福祉委員、 地区社協役員等	

■地域福祉懇談会の様子

(田原地区の様子)



(豊岡地区の様子)



■地区ごとの意見集約の方法

1 報告書 地区別に懇談会等からの意見取りまとめ

- ①地区、テーマ、参加者 ②現状分析 ③目指す姿（こんな地区にしたい）
 ④地区に必要な社会資源 ⑤今後の取り組み ⑥市全体に共通する課題

(向笠地区の例)

地区別懇談会 報告書			
地区	向笠	福祉課担当	牧之瀬 輝
		市社協担当	宮司 恵
開催日	令和4年5月12日(木)	19時30分～20時50分	
会場	向笠交流センター 体育館		
テーマ	高齢者福祉に関わる支援者の連携強化		
主催	向笠社会福祉協議会		
参加者	41人 [内訳]・自治会長9人・地区社協役員3人・民生委員・児童委員8人 ・福祉委員14人(代理含む)・市議会議員1人・行政2人 ・交流センター1人・地域包括支援センター1人・市社協2人		
	※基準日：令和4年3月末現在(※市福祉課で調査し入力)		
	人口	3,727	年少人口 0～14歳 377
	世帯数	1,425	生産年齢人口 15～64歳 2,142
	高齢化率	32.4%	老年人口 65歳以上 1,208
	自治会数	11	上記のうち 75歳以上 506
現状分析	地区の生活課題	・仲間づくり(孤立防止、サロンの在り方見直し) ・高齢者増による担い手の負担増 ・移動手段(高齢ドライバー、同乗の不安、公共交通機関無い) ・独居高齢者の支援(特に地域に顔を見せない方) ・福祉情報をどう得るか伝えるか(買い物支援、福祉制度やサービス、介護や認知症の知識) ・支援対象が高齢者のみに偏りがちなこと(子ども、若者、障がい等にも目を向け、巻き込めないか) ・「福祉」の意識を特定の委員だけでなく自治会全体にも	
	地区の社会資源(施設)	向笠小学校、向笠中学校、向笠幼稚園、向笠交番、郵便局、向笠交流センター、サンボス、お寺、神社、鶴ヶ池、横ヶ谷、コンビニ3カ所、飲食店数軒、ススキ、中小企業 高齢者サロン(市社協登録サロン、出張生き生きサロン、	
目指す姿	地域福祉の向上と住民が支え合い助け合える地域を築くため、向笠(こんな地区に)に居住する子どもからお年寄りまで、安心して生活できる環境づくりを推進する。		
地区に必要な社会資源(こんな活動があったらいいな)	・孤立、孤独になる前の仲間づくり ・福祉ベア制度(高齢者のみ世帯と若い世帯でベアをつくり、近隣住民同士で見守りあう仕組み) ・高齢者が気軽に集えるクラブ ・公会堂を開放した居場所 ・高齢者向けのスマホ教室 ・ボランティアによる独居高齢者のゴミ出し支援 ・デマンドタクシー以外の移動手段(例：袋井市の地域協働運行バス「かわせみ」等)		
今後の取り組み(まずは何から始める、何からできる)	①地区社協主催で、懇談会参加者への報告を実施する。 <<予定>>・8/18 向笠福祉会議 ・9/7 向笠自治会長定例会 ・民生委員児童委員(向笠3地区出そろった時点で) 課題分析を含む報告とともに、既に課題解決に向けて取り組み始めている自治会(岩井原、新屋原)の取り組み事例を紹介。 ⇒報告内容や事例を参考に、自治会ごとで課題解決に向けて動き出すきっかけづくりをする。 ②関係機関と住民有志の協働で、【向笠おしゃべり会(仮)】を開催する。(時期未定) 以下2つのテーマについて、それぞれ住民有志の参加者を募り、向笠の課題について考える機会を持つ。 ・「みんながぐらしやすい向笠を考えよう(仮)」 参加者イメージ：小学生～壮年層 ・「シニアをシニアで支えるために(仮)」 参加者イメージ：壮年層～シニア世代 ⇒参加者が地域課題を自分事として捉え、向笠の将来に向けて動き出すきっかけづくりをする。		
市全体に共通する課題	・仲間づくり(孤立防止、サロンの在り方見直し) ・高齢者増による担い手の負担増 ・移動手段(高齢ドライバー、同乗の不安、公共交通機関無い) ・独居高齢者の支援(特に地域に顔を見せない方)		

